

スマナイ。

## ケラリーノ・サンドロヴィツチ

著

●劇團健康

THEATER/TOPS 創演公演  
劇團健康 第6回公演

作脚色・演出 ケラリーノ・サンドロヴィツチ

(モンティ・バイソン・アンド・ホーリー・グレイルより)

## スマナイ。

東京期間 1989年7月20日木～7月31日月

## CAST

まつお あきら  
手 壇 とある犬 鹿 大み  
山田 塚 伸治立 新 野村  
ケ ラ 美智子神 戸 潤  
他

大阪期間 1989年8月4日金～8月6日日

場所 富士ミヨージアムスクエア ●開演 平日/7:00PM 日/8:00PM

●料金 前売/2200円 当日/2500円 (全席自由) 開演2時間前より整理券発行

●前売開始 1989年6月15日木 ●前売取扱所 チケットひあ 06-363-

9899/チケットセゾン 06-301-9999/梅田ミユージアムスクエアPQ 06-

361-0088 ●開合せ 富士ミヨージアムスクエア 06-361-0008 ●開場 開演の30分前

名古屋期間 1989年8月9日水～8月10日木

場所 白川公園特設テント ●開演 7:00PM ●料金 前売/2200円 当

日/2500円 (全席自由) 開演2時間前より整理券発行 ●前売開始 1989年6

月15日本 ●前売取扱所 市内各プレイガイド・大学生協 ●開合せ 整理券

事務局 052-581-5846 ●開場 開演の30分前

東京	7/20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
平日	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00

大阪	8/4	5	6
平日	19:00	19:00	19:00

名古屋	8/9	10
平日	19:00	19:00

ケラリーノ・サンドロヴィッチ

一九六三年、東京生まれ。一九八二年、何かの間違いで、永遠のニューウエイブバンド「有頂天」を結成。一九九〇年四月には、一枚目のアルバムを発表。一九八五年、劇団健康を旗上げ。主な作品に「牛の人（小社より近刊）」、「カラフルメリディオバヨ」（小社既刊）、「後ろ姿の素敵な僕達」（新書館より近刊）などがある。一九九〇年一月には、エッセイ集

「ライフ・アフター・パンクロック」（小社刊）も発表。また、新しい笑いの旗手達を集めてオムニバスCDをプロデュースする計画もある。

（劇団事務所）

〒150 東京都世田谷区北沢一一一三一一九  
和スターハウス二〇二〇三一四五六一四四  
三〇

宝島モダンクラシックプレイズ⑥  
スマナイ。

発行日——一九九〇年三月二十五日 初版

著者——ケラリーノ・サンドロヴィッチ

装丁——東幸見

発行人——蓮見清一

発行所——J I C C 出版局

〒102 東京都千代田区麹町五十五五

● 営業〇三一二三四一四六二一 編集〇二一二三四一三六八八

郵便振替：東京七一七〇八二一九六二九六八八

印刷所——株廣済堂

© 1990 Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

ISBN4—88063—866—8

モダン  
フレイズ

⑥

スマナイ。

ケラリー・ノ・サンドロ・ヴィッチ



狂ちゃん＝ガラハッド

神戸さん＝ガウェイン

まつおさん＝ラーンスロット

手塚さん＝ロビン

みのすけ＝パツツァー

藤田さん＝ユーサー・ペントラゴン

大堀さん＝アーサー王

峯村さん＝水森亞土

神戸量子

神戸みちよ

弘城

他にもウジヤウジヤ、いろいろ出てくる。役者は“何役でも演つてやるぜ”とゆ一心構えがほしいものである。

# プロロオグ

4

無意味に爽やかなお兄さんであることを。コカコーラのコマーシャルに出て来る位、やり過ぎで良い。

客電も消えぬうち、ステージにはおにいさんが現れる。

おにいさん▼

やあ、おにいさんでーす。こんねんわ 今日は。

銃声。

おにいさんは撃たれて倒れた。

すぐに第一のおにいさんが来たから大丈夫。

第一のおにいさん▼

(明るく)どうも。生前は兄がいろいろとお世話になりました。今日からは僕が第一のおにいさんとして

銃声。

第二のおにいさんも倒れた。

間髪入れずに第三のおにいさんが来たから安心だ。

第三のおにいさん▼

りっぱにおにいさん道を受け継いでいると思っていました。

銃声。

第三のおにいさん、うまくかわす。

第三のおにいさん▼

一口におにいさんといつても

銃声連発。

フットワーク軽く、話をしながらかわす第三のおにいさん。

第三のおにいさん▼

近頃のおにいさんは随分と多岐に渡つてゐみたいですが（突如如何の脈絡もなく绝望して）あー俺はダメなおにいさんだ——！

とピストルを出して自分の頭を射抜いた。

三人のおにいさんの屍。

スマナイ。

●おにいさん達の倒れ方●

おにいさんは撃たれて死ぬ時に「うつ」とか「ぐわつ」とか言つてはいけません。ましてや「痛い！」なんぞと叫んだらぶつとばさぞ。あつさりとまるで嘘のようになつさりと死ぬのです。「段どり芝居はできないなどと抜かず役者はクビにすれば良いのです。

照明落ちる。

ナレーション▼

本日は御来場誠にありがとうございます。つつしんで三人兄弟の御冥福をお祈り申し上げつつ、本編の前にボクシング試合でお楽しみ下さい。

それらしい音楽、歓声。

明りつくと舞台上にはリングが出来ていた。

アナウンサーの声▼

本日のメインイベント全日本パンタム級タイトルマッチ、青コーナーは、チャンピオンであります長髪の悪魔八波大。一方八波の長髪に果敢に挑むのは赤コーナー、千葉県科学研究所の井上正五郎教授であります。

そこには長髪のボクサーとガウンを脱いだら背広姿だった教授がいた。ゴング。

アナウンサーの声▼

教授▼

第一ラウンドゴングが鳴りました。

偉大なスポーツはすべて科学的です。科学がトレーニングに勝つことを証明しましょう。

八波、教授の腹に一撃。

教授ダウン。

アナウンサーの声▼

レフエリー▼

ダウン、井上教授いきなりダウン。

ワン、ツー、スリー、フォー、ファイブ

教授、苦しそうに立つた。

アナウンサーの声▼

教授▼

井上立つた、立つた。  
パンチをよけるには、45度の方角に下がり

八波、再び強烈な一撃。

教授、ダウン。

アナウンサーの声▼

井上教授ダウン！ ダウンだ！ これは相当効いています。これはダメで  
しょう！

レフエリー▼

ワン、ツー、スリー、フォー、ファイブ、（いきなり速く）シックスセブン  
エイトナインテン！

アナウンサーの声▼

見事！ 長髪の悪魔八波大が、井上正五郎教授を一ラウンド33秒でKOし

スマナイ。



ました。来週は、『芝居はスポーツだ』と力説する演劇評論家大川清十郎氏がチャンピオンに挑戦します。

八波、いつの間にかフォークギターを用意しており、なんだかよくわからないのだが、彼の弾くギターに合わせてレフエリーと各選手のセコンドがリング上で唄をうたうのだ。

うた――

三人、唄い終えて礼をし、くるりとうしろを向くとノーパンでズボンが破れており、尻まるだしである。

銃声連発。

次々と倒れるレフエリーと二人のセコンド。

音楽。

「スマナイ。」というタイトルがスライドで投影されるやいなや、またもや銃声。スライドも音楽も、電源が抜けたかのように実にだらしなく消えていった。

### ● 尻を隠す ●

この「尻まるだしである」とことは一応ギャグがあるので、これ以前に尻まるだしであることがバレたら駄目なのである。特にレフエリー役の人は苦労するだろうが、まる出しである尻を隠し通すことも役者の実力である。否、むしろ尻を隠すことこそ役者なのである。

なお、この部分、「パンツ丸出し」にアレンジしての上演はお断りする。それではまるで弱い。「陰部丸出し」も駄目である。下品過ぎる。ここはどうしても尻でなくてはいけない。「尻を出しがいいやなら役者なんかやめてしまえ！」の一喝が欲しい。

# ACT 1

闇の中、唄。「小さな喫茶店」

唄▼

●選曲について●  
この芝居を上演する際には、選曲についても充分留意して頂きたい。

例えばこの「小さな喫茶店」は、かつて、あがた森魚や鶴田浩二も唄つたナツメロであるがそんなことはどうでもよい。舞台の上が『喫茶店』であることを実にストレートに提示してくれることで、それが重要なのである。同様に、海辺のシーンでは「海」、正月のシーンでは「お正月」、けんかのシーンでは「けんか」を流したりしたら芝居は台無しになるであろう。第一、「けんか」なんて曲あるのか？

(間奏)

あの過ぎた日の事が浮かぶよ

何かしら悩ましくなる  
春さきの宵だつたが

スマナイ。

此の道を歩く時 何かしら心ざみしい  
秋深い宵だつたが

ボンヤリと明りつく。

そこは唄のタイトル通りの小さな喫茶店。

テーブル二つ。各テーブルに椅子二つ。

テーブルA（下手側）には正装した男と女。緊張ぎみの様子。テーブルBには男一人。テーブルAとテーブルBの間には、向き合つてテーブルAの男女そつくりそのままの写真がスライドで投影されている。唄は続く。

（唄はいつの間にかラジオボイスになつてゐる）

唄  
▼

小さな喫茶店に入つた時も二人は

お茶とお菓子を前にしてひと言もしゃべらぬ

そばでラヂヲは甘い唄を

やさしく唄つてたが

二人はただ黙つて

向き合つていたつけね

唄は終わるが演奏はもう少し続く。テーブルAの男女は唄に唄われたように、た

だ黙つて向き合つていた。  
やがて演奏も終わる。

長い沈黙

テーブルBの近くに別の男が来た。

(以下、とりあえずテーブルAの男を男A、テーブルBに居た男を男B、今来た男  
を男Cとする。)

男C▼  
(怪しい様子で男Bに) 煙草もつてるか。

男B▼  
え。(探して) いや、あいにく。

男C▼  
そうか……

と、いうやいなや、男C、煙草を一箱出して。

男C▼  
やるよ。

男B▼  
え。

男C▼  
やるよ。持つてないんだろ、煙草。

男B▼  
はあ。

男B、困惑しながらも煙草を受け取った。

スマナイ。

●男Bと男Cの会話について●  
実は、この芝居の中で最もムズカシイのがこの「BとCの会話」の件りである。それはそれは綿密な演出が必要なのであるが、教えてやらない。頑張ってくれ。

男C、キヨロキヨロして怪しい様子。

男C▼ (再びBに) 煙草持つてるか。

男B▼ え。

男C▼ 煙草だよ。

男B▼ はあ。あの、これ。

と、今男Cから受けとつたばかりの煙草を見る。

男C▼ 一本頂けないかな。

男B▼ はあ。一本と言わず何本でも。

男C▼ 一本だ。

男B▼ はあ。

男C、煙草をくわえた。

男C▼ 火あるか。

男B▼ え。あ。(探した)

男C▼ (男が持っていないのを確かめて) やるよ。

男B▼  
え。いや。私は。

男C、男Bに無理矢理火をつけたマッチを渡した。

男B▼  
だつてこれ、

男C▼  
……火あるか。

男B▼  
あ（消えてる）だつて……」れ……

男C▼  
やるよ。（と今度はライターを渡した）火あるか。

男B▼  
あ……（つかない）

男B、ライターをつけようがつかない。

男B▼  
……つかない……

男C▼  
つかないか。

男B▼  
はい。

男C▼  
スマナイ。

二人、抱き合つ。

スマナイ。

男B▼ ロビンか！

男C▼ ラーンスロットか！

男B、まわりを気にして。

男B▼ シツ。誰かに気付かれたらどうするんだ。

男C▼ スマナイ。しかし、長い合言葉だった。

男D▼ 念には念を入れんとな。いつ敵のスペイが現れるともしれん。（店内を見回し、少しイラついた表情をしながら）ガウエインはまだか……

そこへ男Dが来た。

男D▼ (BとCに) 煙草もつてるか？

男Dはガウエインなのだろう。

男B・C▼ (口々に) いや、あいにく。

男D▼ そうですか。（店の奥に向かって）すみません。キャビンマイルド！

男B C、やにわに立ち上がりてピストルを出し、男Dを撃つて撃つて撃ちまくつた。男Dはとつぐに死んでいるのに撃つて撃つてまた撃つのだ。

男B▼  
スペイめ！

さんざん撃ちまくつてから、

男B▼  
(Cに) バカ！ 誰かに気付かれたらどうするんだ！  
男D▼  
スマナイ。

男Bと男C、テーブルAの男女を気にしたが、二人はこの惨劇にはまるで気付いていなかつた。

男C▼  
良かつた、気付いていない。

男B▼  
いいか、下手なこと人前でしゃべるんじゃないぞ。  
男C▼  
へタ  
下手なこと？

男B▼  
俺達がキチガイだつてことよ。

男C▼  
……

男B▼  
どうせ俺達の言ひうりとなんぞ誰も信じちゃくれねえんだ。いくら俺達がキ

男女が気付かないことの可笑しさを  
出す為には、その前に男Bがよほど大  
騒ぎしなければならない。男Dを撃つ  
ところではともかくしつこい位、執拗  
に撃ちまくるように。

スマナイ。

